

# ひとり一人がしあわせ

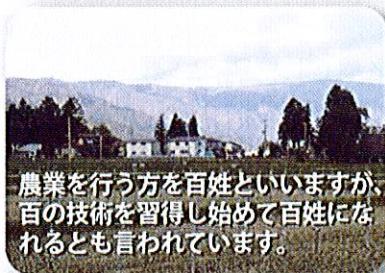
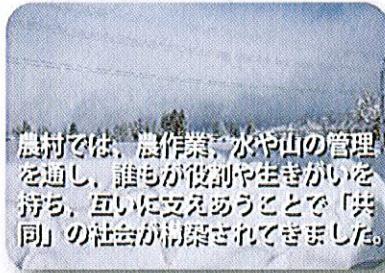
～支えあいの暮らし戦略会議の概要～

飯豊町社会福祉協議会

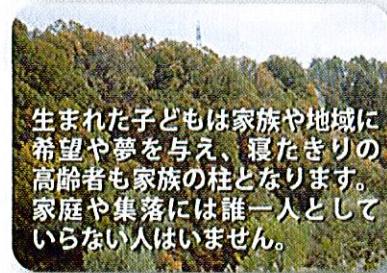
2010年4月

日々の暮らしの中で支えあい、生活しやすい地域づくり

『支えあって住み続けられる集落づくり  
のためのガイドライン(活動方針)』を作成！



農業を行う方を百姓といいますか、百の技術を習得し始めて百姓になれるとも言われています。



## 社会福祉推進事業 ～支えあって住み続けられる地域を求めて

平成21年度、飯豊町では、高齢者世帯などの安否確認と買い物支援を中心に、安心して生活できる地域づくり（安心生活創造事業）に取り組んでおり、飯豊町社会福祉協議会では、ワークショップ（話し合い）や「支えあいの暮らし実現戦略会議」を行い、集落や地域が持っている支えあい機能充実の検討を進めてきました。ワークショップは、集落で高齢者を中心とした人々とつながりを築きお互いに支え合う仕組みづくりを目的に、参加者とともに身の回りの問題を出し合、問題を整理して対応策を考え、対応策に基づいてアクションプランを作るという流れで行い、最終回にはすぐにできるプラン（食事会など）を実行しました。

今回、ワークショップなどを通じて得た成果を、身近なところから実践できる『支えあって住み続けられる集落づくり』のためのガイドライン（活動方針）としてまとめましたので紹介します。

## 集落としての取り組み

『支えあって住み続けられる集落づくり』のためのガイドライン(活動方針)は、各集落で活用するガイドラインと町全体で活用するガイドライン(プロジェクト)に分かれています。

これらは最小限守らなければならない目標・項目です。  
各地域や集落でどの目標から行動を起こしたら良いかを話し合い、可能な項目から取組むことが重要です！



### 高齢世帯のための除雪体制(除雪のルール)を作りましょう。

- 必ず声を掛け合って雪下ろしをしましょう。
- できれば同一時間に行い終了後には臨時の集まりを開きましょう。  
(未確認事故の防止)
- ボランティアとの協働体制を検討しましょう。  
(スノーバスター等の活用)

目標

### いつでもどこでも、気軽に集まれるサロンの場を作りましょう。

- 高齢者が定期的に集まる場を決めましょう。  
(サロンの普及)
- 暮らしにとって大切なことを楽しく実践しましょう。  
(食事会、健康づくり、他)
- 集落にとって必要な活動を可能な範囲で考えましょう。  
(子ども／孫への伝承、他)

目標

### 「向う三軒両隣」、安否確認や暮らしの助け合いルールを作りましょう。

- 隣組の連携を強め、SOS のサインを見逃さない地域をつくりましょう。(3人組、5人組、隣近所の見守り体制、他)
- 外泊時の創意的なルールを考えましょう。(隣近所の秘密暗号の共有)
- 民生委員、区長等との連携を図りましょう。  
(安心生活創造事業連絡者)
- 訪問販売等の対応と連絡体制を考えましょう。
- 昔の「向こう三軒両隣」でどんなことを行ってきたのか話し合ってまとめましょう。

目標

目標

### 暮らしのサポート体制を検討しましょう(何でも助っ人)。

- 困ったときに何でも相談できる体制を考えましょう。  
(多い困りごとは?)
- 雪回いなどの季節毎の作業支援を考えましょう。
- お互いに頼むことができるようになります。  
(買い物や食事等の生活支援)
- 得意技を使って生活に必要な物を生産し交換しましょう。
- お助け労働の交換。  
(お互いの支援策を交換、地域通貨の実験)
- お互いに得意な家事労働のリストを作りましょう。  
(電気関係は〇〇さん)

目標

### 家の後継者を確保しましょう。

- 安心して任せられる後継者を捜しましょう。  
(養子縁組など幅広い後継者)
- 家を離れた子どもに声をかけましょう。  
(辛かったらいつでも戻ってこい、集落が待っている)
- 集落ぐるみで子どもや孫を呼び戻しましょう。  
(お互いに子どもの事を話題にしましょう)
- みんなで住むことは楽しい多世代家族を再び。  
(みそ汁の冷めない距離に)

## 行政区や町としての取り組み

町民の皆さんをはじめ、行政、社協、商工会、町内の企業等、多様な団体との連携を図り、暮らしやすい地域づくりを進めます！



プロジェクト

### 高齢者の支え合いネットワーク・プロジェクト

- 同窓会等の開催支援  
(5年、10年毎の定期的同窓会の開催／多様なネットワークの事務局機能)
- 喜寿、米寿、白寿等の盛大なお祝い支援  
(孫の世代の「肩たたき」)
- 除雪等のボランティアのネットワーク構築  
(支え合いのファンクラブ)
- 他出家族への手紙活動

プロジェクト

### 消費者被害防止と買い物支援プロジェクト

- 消費者被害防止の学習会の開催と情報の提供
- 買い物支援
- 共同購入

プロジェクト

### 高齢者の所得向上プロジェクト

- 地区(公民館)レベルでの高齢者の手造り直売所  
(高齢者の交流の場)
- 社協ブランド (推奨品；高齢者に必要なものづくりの認証)
- 高齢者の「ものづくり」を促進する研修体制  
(販売流通体制／域内流通の検討)
- 「ものづくり」の交換会の開催

## 飯豊町社会福祉協議会の取り組み

支えあって住み続けられる地域づくりのために、活動を支援する人材の確保(ボランティア募集等)、財源の確保などが重要です。そこで飯豊町社会福祉協議会では、以下の項目に取組み、高齢者の生活や集落での取り組みを支援します。

### ● サロン活動の普及

楽しく集まれる場所がある、一緒に行動できる場所があることは大切なことです。サロン活動を広めるために指導者の育成を含めた支援を行います。

### ● 身近な助け合いのルールづくり

お互いさまの気持で、雪回いや除雪、照明器具の交換、ごみ捨てなどの簡単な作業を、気楽に頼めるルールづくりを進めます。

### ● 高齢者向けの商品開発と販売

高齢者の暮らしや在宅で介護をしているご家庭で必要な商品を選定して消費者被害を防止すると共に、生活の質を高めるための買い物支援を進めます。

### ● 同窓会案内支援事業

中学校を卒業したら定期的に集まりが持てるように、案内の発送などを進めます。このことによって町に戻る人が多くなれば嬉しいです。

### ● 社協ブランドづくり

地域福祉を支援する販売と購入促進を進めるために、社会福祉協議会ブランドづくりを進めます。

# できることからはじめよう

日常的に支えあうことができる地域づくりには、少しの知恵と工夫、少しの支援、そしてできることから行動することが大切です。このガイドラインを活用するだけでなく、まちづくりの主人公である住民の皆さん相互の交流が生まれ、新たな取り組みがどんどん生まれていくことを願っています。

飯豊町社会福祉協議会では、皆さまのご理解とご支援を頂き、安心して暮らし続けられるまちづくりに取り組んでまいりますので、よろしくお願ひいたします。

## お互いさま

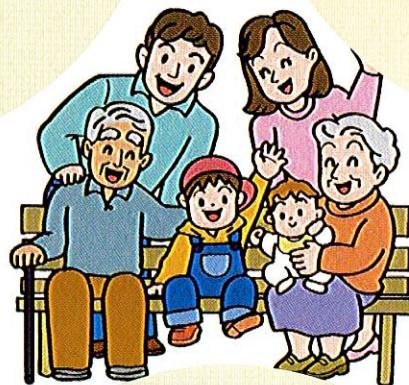
困りごとはお互いさまの気持で隣組や集落で解決しましょう。

- ・高齢者等の見守り
- ・除雪や身の回りの簡単な手伝い
- ・町などからの文書の説明
- ・簡単な買い物

## 楽しくプラスα

楽しい活動から収入を得たり、生きがいや心の支えになる活動に参加しましょう。

- ・老人クラブに参加
- ・集落でサロンなどをつくり参加
- ・特技や農産物の生産・販売から少しでも収入を得る



## 心地よい地域

住んで良かった、これからも住み続けたい地域になるよう、皆が考え行動しましょう。

- ・高齢者も障がい者も、だれもが暮らしやすい地域のために皆で努力します
- ・家の後継者との連絡や確保する努力を惜しません

## 社会福祉法人 飯豊町社会福祉協議会

山形県西置賜郡飯豊町大字椿 3,642 Tel0238-72-3353 Fax0238-72-3532

Eメール: [iideshakyo@poem.ocn.ne.jp](mailto:iideshakyo@poem.ocn.ne.jp)

編集協力：(株)地域計画研究所